

12/8ビート

12／8ビートの特徴

12／8ビートはスローテンポなブルースで用いられるビート。

シャッフル・ビート同様3連符ベースのビートで、
独特のけだるさと土臭さはそのままに、
ゆったりと落ち着いたグルーヴが特徴です。

12／8ビートの特徴は以下のとおりです。

- 12／8拍子を基調とした3連符系リズム
- スロー・ブルースにぴったり
- ルーズでダブついた音色

12／8拍子を基調とした3連符系リズム

12／8ビートは、その名の通り12／8拍子を基調とした3連符系のリズムパターンです。

同じく3連系のシャッフル・ビートよりもルーズさは抑えられ、正確めに3連符を刻む傾向にあります。

「ツツツ タツツ ツツツ タツツ」と、
淡々と穏やかに刻むのが12／8ビートの特徴ですね。

スロー・ブルースにぴったり

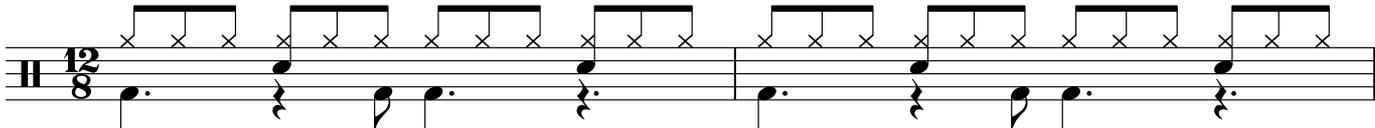
12／8ビートは、ブルースの中でもとりわけテンポの遅い「スロー・ブルース」にぴったりです。

とくに、バラード調のメロウで歌い上げる楽曲にはおあつらえ向きといえるでしょう。

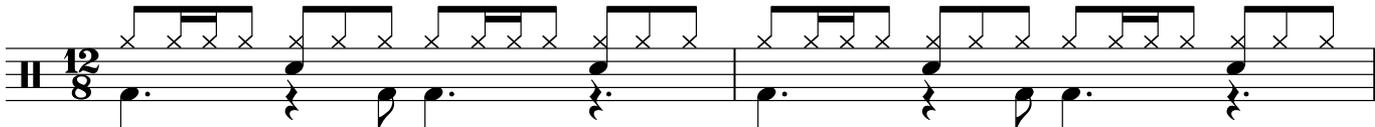
そういう意味では、ブルース以外のバラードで使用しても全く違和感なく使えると思います。

12/8ビート

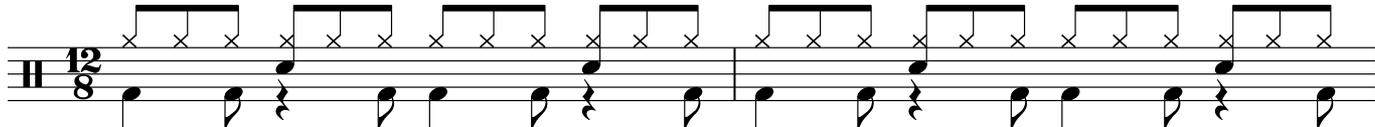
パターン①



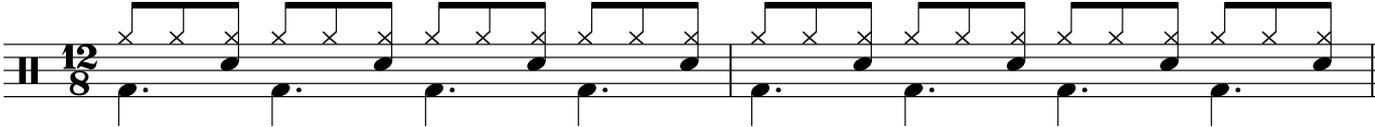
パターン②



パターン③



パターン④



12/8ビート

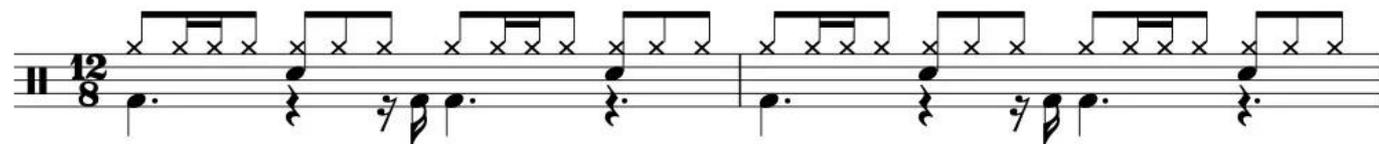
パターン⑤



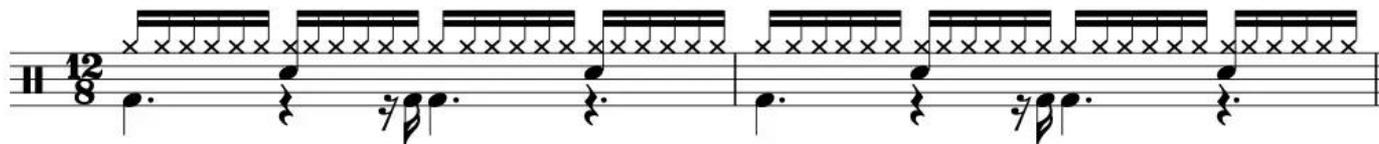
パターン⑥



パターン⑦



パターン⑧



12／8ビートの音色選び

音色についてはシャッフル・ビート同様「ルーズでダブついた音色」を意識しましょう。チューニングが緩めのヘッド(打面)でダブついた印象のドラムと、強めのルーム感がポイントです。

具体的には、以下の点を意識すると良いでしょう。

- 少し低めのピッチ(音程)
- ルーズなアタック(打音)
- 強めのルーム感(余韻)

12／8ビート打込みのコツ

■ 12／8ビートのベロシティ

ベロシティにおいては、頭拍のアクセントが最重要となります。
シャッフル・ビート同様「裏ノリ」感は意識すべきですが、
3連ウラはそこまで強調せず、自然に3連ウラを感じる程度で大丈夫です。
また、バラードでの使用を想定して、
優しくソフトなタッチを再現したベロシティ選定もポイントですね。

■ 12／8ビートのクオンタイズ

12／8ビートでは3連符の刻みをジャスト目に打ち込む方よいです。
強いていうならば、スネアや3連真ん中のハイハットのみスウィングを使って
軽くレイドバックさせると気持ちよくグルーヴします。
ちなみに、ハイハットやキックに16分フィールを取り入れる際には、
16分ウラを強めにスウィングさせるとよいでしょう。